

「ちいさな親切」運動愛媛県本部事務局 御中

令和7年11月27日

## 第34回愛媛「コスモスの花」コンクール 実施報告書

応募者名 〒791-8018  
愛媛県松山市問屋町 6-26  
TEL 089-922-4347 (総務部直通)  
氏名・団体名 株式会社 松宮  
連絡担当者 藤原三紀

### 実施内容

1. 場所 社屋南側
2. 面積 約 0.8 m<sup>2</sup>
3. 参加者 4名
4. 種まき時期 2025年6月19日
5. 開花時期 2025年8月中旬～10月下旬
6. 実施内容 以下のとおりご報告いたします

### 【6月19日】

この日、今年のコスモスが始まりました。天気のいい梅雨の合間をぬって、忙しいメンバーのタイミングが空いた少しの隙に、さっと種まきをしました。コスモスは既に勝手知ったるやり方で、プランターの前後2列に、ゴマをパラパラと撒くようにまんべんなく撒いていきました。今年はコスモスに加えひまわりも、とのこと。ひまわりを育てたのは、メンバー全員はるか昔、ウン数十年をさかのぼらないと思い出せない過去でしたので、とりあえずネットを頼りにコスモスよりは間隔を少し開けながら、指で空けた穴に2, 3粒ずつひまわりの種を入れていきました。いつもは4つのプランターにコスモスを植えていましたが、今年は2つずつコスモスとひまわりを植えました。



## 【6月24日】

いつも見逃しがちな発芽の瞬間ですが、今回も、夕方には見つけられなかった発芽が、次の朝にはかわいらしく芽が出ていました。これです、これです、これがザ・双葉です。



コスモスは毎年のとおり、途中、腰高くらいまでは何事もなく順調です。

順調のはず…?!?!でしたがなんだ！なにか知らない謎の白いキノコのようなものが生えてる！急に！



この5年間でこんなものは見たことありませんでしたが悪いものでないか、グーグルレンズで調べてみるとクズヒトヨダケなるものらしいです。雨の降った後に早ければ1日の間に発芽・成長・朽ちるところまで進むとのことです。害はなさそうですが、引き抜いてみると、あっけなくなんの抵抗もなく抜けてしまいました。よくよく見ると薄くレースのように纖細で愛らしい形もあります。しかし残念ですがここはコスモスの領域ですので一旦引き抜かせていただきました。このジメジメ感がよかつたのか、この後何度かクズヒトヨダケは芽を出しましたが、放つておくと、乾燥した1日でカラカラになってしまい、寿命を終えました。コスモスの様子を観察していると、このような意外なもののが発見もあり、楽しんで観察ができます。

## 【6月30日】

忙しさにかまけていると毎日の観察と撮影を怠ってしまい、コスモスに次いで1週間もしないうちにひまわりが芽を出し、あっという間にひまわりの双葉が四つ葉になってしまいました。（水やりを毎日している人から芽が出たという報告を聞いてはいたのですがすみません）



本来であればこらへんで間引きをするように、とネット先生にも書かれているのですが、なかなか、芽の出た元気な葉を引くのは忍びないので、どうしてもそのまま放ったらかしにしてしまいます。

ひまわりも撒いた種から結構な確率で芽が出ており、良質な種であったことがうかがえます。



同時に、コスモスは既に 10～15cm まで丈が伸び、順調です。こちらも間引きはしていません。特に水やりを朝晩毎日してくれている担当の人が愛着がわいてしまい、この 5 年間で間引きは 1 度きり。結局毎年、そのままにしています。

【7月8日】



ひまわりの本場が出そろいました！順調に葉っぱも広がり、10～15cm くらい横に張り出しています。ここでメンバーたちは首をかしげます。ひまわりってこんなんだったかなあ…と。何日たっても、葉は横に張り出す一方で全然上に伸びてきません。私たちのイメージするひまわりは上に上に伸びてきて見上げる形ですが一応、「ミニヒマワリ」と書いてあったので、丈は短くなるのかもとは予想していました。

…が、

まさか…

あんなになるとは

予想だにしませんでした。

## 【8月2日】

今年は気温が高く、日照りが続きましたが、土日の休みも3連休も、家が近いからといって毎週末水やりに来てくれる他部署のMさん、出社後と退社前に必ず水をやって帰る総務部のHさん、本当に世話になりました。おかげさまで問題なくすくすくと育ち、コスモスは背丈50cm程度へ、ヒマワリは直径30cmへと大きくなりました。

ヒマワリの直径(?)30cm?…そうです。上に伸びると思われたヒマワリは地べたを這うようにまるでパンジーやたんぽぽのように葉っぱが地面に対して水平に伸びて、ほとんど上にはのびないまま、葉っぱの真ん中に、つぼみが埋もれるようにできていました。これってつぼみかな??



## 【8月12日】

1か月経ってもヒマワリは結局ほとんど上には伸びず横に葉がわざと広がってかわいらしいヒマワリの花を咲かせてくれました。茎が少ししか伸びずに花はヒマワリという、イメージしていたのと違う、ちょっとへんてこりんですが、愛嬌のあるその姿には思わず激写してしまいます。メンバー同士でも、こんなヒマワリ見たことないね、とその姿に動搖を隠せません。しかし、鮮やかな黄色い花は夏空にも映え、そのまま切り花にして花瓶に生けたい気持ちでしたが、このまま置いておくとどうなるのか、種はとれるのか、興味もあって、そのままにしておきました。



コスモスは例年で考えるとまだまだこれから伸びていく、という感じです。コスモスの開花までヒマワリが待ってくれたらいいのですが、思ったよりもヒマワリの開花の寿命は短かったです。2つの花のコラボは実現ませんでした。

【8月19日】

ミニヒマワリの開花から1週間もしないうちに花は茶色くしおれてしまいました。しかしこれを見たときにハッと気づくことがあります。まるでゴッホだ！そうだ、ミニヒマワリはゴッホの花だったのか！と筆者は一人膝を打ちました。

普通のヒマワリでいうと、真ん中の茶色い部分に種ができるので、しおれてももう少し置いておこうか、となり、そのままの状態で過ごしました。



【9月22日】

ヒマワリの葉の勢いはいつまで経っても衰えず緑のままです。一方、待てど暮らせどヒマワリの種ができるないねえなどとメンバーと話しているとある日・・・

これまたびっくり、枯れた花の下からさらに新たな花が2つ3つ、つぼみをつくりあれよあれよという間に花を咲かせているではありませんか！これまたヒマワリの概念を覆す、あの大きなひまわりとは似て非なる特徴でした。



このころになるとコスモスも腰高を超えてきて、ちらほらと花をつけてきています。しかし、まだ満開状態とは言えません。台風に備えて風で折れないようにひもで囲みます。



【10月21日】

幸いに大きな台風が通過することなく、土日に土砂降りの雨が降ったことはありました、それは脅威ではなく水やり係の負担を減らすためのよい恵みの雨となりました。

今年はヒマワリとコスモスは半分半分で2つのプランターに分けたので、コスモス自体の量が減っています。もともとコスモスをプランターで育てるときは花が密集してわっと咲くわけではないのですが、今年はさらに少し寂しい感じを受けてしまいます。花の見ごろは今日か今日かと写真を撮ってみましたが、どの日も違うような、どの日も当てはまるような感じがします。日当たりのよい場所ですので、今年も2mを超える高さとなり、写真を撮る際には大きな脚立を運んできて撮ることになりました。無事、今年も開花を迎えてほっとしています。



以上